

善光寺だより



伊藤三喜庵氏
新聞小説の挿絵を描く

善光寺檀徒総代で水墨画家の伊藤三喜庵氏が、五月二十五日からの読売新聞の朝刊小説「万次郎の生涯・椿と花水木」（津本陽・作）の挿絵を担当することになりました。その独特な作品は本誌の表紙絵や挿絵などで私たちにも御馴染みですが、新聞小説という限られたスペースの中で、三喜庵氏の世界が一段と広がりを見せてくれることでしょう。

陳永裕師
博士仏教学の学位を授与される

平成二年度第六回の善光寺海外留学僧派遣遺育英会の留学生だった陳永裕師（韓国、駒沢大学留学）は、駒沢大学大学院人文科学研究科仏教学専攻の博士課程において所定の単位を修得

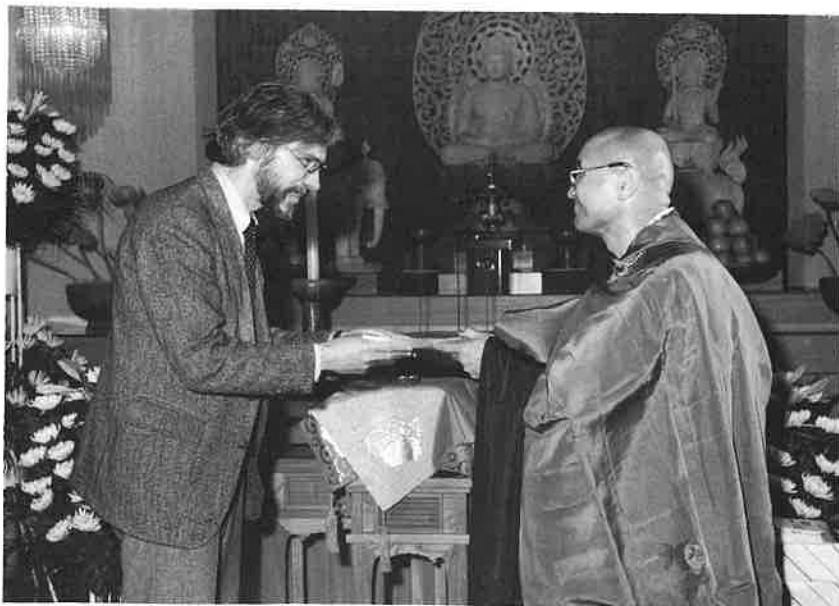
し、学位論文の審査及び最終試験に合格、三月二十五日、博士仏教学の学位を授与されました。留学生の中から第二回生の安井隆同師（インド・カルカッタ大学Ⅱ古典・サンスクリット学）に次いで二人目の博士の誕生で、大変に喜ばしいことです。

陳永裕師は現在、韓国において普陀寺の住職で、中央僧伽大学の講師を勤めておられます。



平成四年度総代会を開催

六月六日（土）二時から平成四年度総代会が開催され、二十五名の方々が参集されました。総代会に先立ち釈迦殿において黒田住職導師のもと回向を厳修したあと、開基家の代理として株式会社ナリス化粧品相談役・東郷優氏が挨拶。続いてこのたび西堂として迎えられた佐藤俊明老師が、「折角西堂という有難いお役を頂き、今まで以上に善光寺を素晴らしいお寺にすべく、皆様と共に精進していきたい」と述べられました。このあと客殿に移り、総代・中村治雄氏、黒田住職、檀頭・伊藤喜三郎氏の挨拶のあと議事に入り、①平成四年度行事報告、②平成三年度決算報告、③平成三年度護持会報告、④善光寺海外留学僧派遣育英会報告、⑤永平寺参拝の件、⑥その他、が審議され、承認されました。



顧問の委嘱書を伝達

善光寺海外留学僧派遣育英会では、各界から多彩な方々を顧問に迎えています。新顧問の米国スタンフォード大学教授で文学博士のカール・ビーフェルト氏に、黒田育英会理事長から、委嘱書を伝達しました。

会社の安全大会で任職が講演

七月九日（木）午後一時半から行われた神奈川電機株式会社の平成四年度・第二十七回安全大会において、「生きがいのある人生」と題して、善光寺・黒田住職が講演しました。会社が丸となって取り組む安全大会でのメイン行事として、任職の講演は社員の皆様に感銘を与えました。